



2010年度 事業報告書



目次

NPO法人京都ライフセービングのあゆみ	…	1~2
2010年度まとめ	…	3
☀ 水辺の監視・救助・環境保全活動事業	…	4~8
☀ 青少年・児童に対する水辺の安全・教育事業	…	9~11
☀ ライフセービングの普及振興を図る為の人材育成事業	…	12
組織概要	…	13



特定非営利活動法人京都ライフセービング
2010/4/1-2011/3/31

京都ライフセービングのあゆみ

2000年7月 ライフセービングの研修を受けた有志が集まり、ライフセービングの普及振興を図るため、任意団体「舞鶴ライフセービングクラブ」を設立し、舞鶴市の神崎海水浴場を拠点として活動を始める。

2008年度から、京都府宮津市の天橋立海水浴場に拠点を移す。

2009年4月 京都におけるライフセービング活動の更なる普及・発展を図るため、「舞鶴ライフセービングクラブ」から「京都ライフセービング」へ名称変更

2010年4月 特定非営利活動法人京都ライフセービングを設立

2001年

舞鶴インターナショナルデュアスロン2001

京都府水難救済会洋上救急慣熟訓練

保津川開橋イベントガード

身体障害者ヨット乗船体験ガード

2002年

舞鶴インターナショナルデュアスロン2002

まいづるクリーンキャンペーン2002

京都府水難救済会洋上救急慣熟訓練(天橋立)

2003年

天橋立オープンウォータースイムレースガード

まいづるクリーンキャンペーン2003

極真会館夏合宿ライフセービング講習会(天橋立)

ふるさと海づくり大会ガード

京都府水難救済会洋上救急慣熟訓練(若狭湾)

舞鶴市立志楽小学校教職員プール開き事前救急講習

2004年

天橋立オープンウォータースイムレースガード

双海オープンウォータースイムレースガード(協力)

泉南オープンウォータースイムレースガード(協力)

京都府水難救済会洋上救急慣熟訓練(若狭湾)

まいづるクリーンキャンペーン2004

NPO法人自然体験共学センター 夏の自然体験キャンプガード(小浜市勢浜海岸)

舞鶴市立志楽小学校教職員プール開き事前救急講習

兵庫教育大学附属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂)(協力)

台風23号災害復旧ボランティア

2005年

水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)

NPO法人自然体験共学センター 水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)

京都府水難救済会合同救助訓練(若狭湾)

まいづるクリーンキャンペーン2005

舞鶴市立志楽小学校教職員プール開き事前救急講習

兵庫教育大学附属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂)(協力)

2006年

水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
NPO法人自然体験共学センター 水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
成基グローバルキッズ倶楽部Jrプログラム
舞鶴市立志楽小学校教職員プール開き事前救急講習
舞鶴市立池内小学校教職員プール開き事前救急講習
舞鶴市立青葉中学校教職員救急講習
兵庫教育大学付属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂) (協力)

2007年

ウォータースポーツプロジェクト2007(高島B&G海洋センター)
高島市立マキノ西小学校 着衣泳指導(B&G水に賢い子どもを育て年間型活動プログラム)
舞鶴市立大浦小学校 着衣泳指導
舞鶴市立倉梯第2小学校 若者の水難救済ボランティア教室
水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
京都府総合防災訓練(網野町八丁浜)
兵庫教育大学付属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂) (協力)
ひめじ家島オープンウォータースイムレースガード (協力)

2008年

豊田市立益富中学校 水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
ウォータースポーツプロジェクト2008(高島B&G海洋センター)
第20回びわこトライアスロン大会in高島(高島市)
水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
高島市立マキノ西小学校 着衣泳指導
兵庫教育大学付属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂) (協力)

2009年

豊田市立益富中学校 水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
CPR(心配蘇生法)講習会の開催 (舞鶴市中総合会館)
第21回びわこトライアスロン大会in高島(高島市)
2009まいづるアクアスロンin若狭おおい(おおい町)
高島市立マキノ西小学校 着衣泳指導
水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
兵庫教育大学付属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂) (協力)
第20回トライアスロン珠洲大会(珠洲市) (協力)
白浜オーシャンサーフチャレンジ2009(和歌山県白浜町)
三洋物産 INTERNATIONAL LIFE SAVING CUP 2009(和歌山県白浜町)

2010年

豊田市立益富中学校 水泳プログラムガード(若狭湾青少年自然の家)
CPR(心配蘇生法)講習会の開催 (舞鶴市中総合会館)
第22回びわこトライアスロン大会in高島(高島市)
高島市立マキノ西小学校 着衣泳指導
2010まいづるアクアスロンin若狭おおい(おおい町)(委託)
兵庫教育大学付属小学校臨海合宿ガード(兵庫県浜坂) (協力)
第21回トライアスロン珠洲大会(珠洲市) (協力)
ひめじ家島オープンウォータースイムレースガード (協力)
宮津キャッスルハッスル～勘左衛門カップ～ガード(委託)
白浜オーシャンサーフチャレンジ2010(和歌山県白浜町)
三洋物産 INTERNATIONAL LIFE SAVING CUP 2010(和歌山県白浜町)

2010年度のまとめ

1. 事業の概要

私たち特定非営利活動法人京都ライフセービング(略称KLS)は、京都府、日本三景の天橋立をホームビーチとし、関西を中心にしたライフセービング活動を行っている。

主に京都府におけるライフセービング活動の普及と発展を目的とし、地域の活性化、青少年の育成、環境教育など幅広い視野をもった活動を心がけている。

2. 事業の成果

2010年度は、特定非営利活動法人としての初年度にあたる活動を行い、今後の事業内容と法人活動の展開等について具体的なビジョンをもつことができた。

しかしそのビジョンを実現するための、組織運営と人材獲得について課題の残る一年となった。

主なる事業について、3つの項目において概要と所感は以下の通り。

○ 水辺の監視・救助・環境保全活動事業 ○

京都ライフセービングが行う事業の中で核となるものが、(社)天橋立観光協会から委託を受けて行う、日本三景の天橋立海水浴場・府中海水浴場の監視業務である。

本年度も、海水浴場において水上安全の啓蒙活動を行う他、安全輸送やファーストエイド等を施し海水浴場の安全維持を行い、死亡事故ゼロでシーズンを終える事ができた。スポーツイベント等の主催者から依頼を受け、安全スタッフとして監視業務に携わった。海

浜清掃活動を他団体と合同で開催することができた。

今後は、他団体とも協力しイベントに参加することで交流を持ったり、学び合いの場にしていきたい。

○ 青少年・児童に対する水辺の安全・教育事業 ○

ジュニア育成事業を行うにあたり、社内に教育委員会を編成し、外部の研修会に積極的に参加した。さらに社員およびボランティアスタッフ全体で情報を共有し、スキルアップを図った。

よりよいプログラム作りをするためにも、今後はスタッフ育成にも力を入れていきたい。

○ ライフセービングの普及振興を図るための人材育成事業 ○

今年度は、活動を幅広く知ってもらうために、ホームページの充実、ブログでの定期的な活動内容の報告、ツイッター、mixiなど広報コンテンツを充実させた。

来年度は、活動内容を具体的に周知できるように季刊誌を作成し、これをホームページ上で公開していきたいと考えている。

CPR講習会を開催し、関係機関をはじめ学びの場を提供することができた。

3. 各事業の実施内容

* 詳細は別表のとおり

水辺の監視・救助・環境保全活動事業

■「天橋立海水浴場(文殊)・府中海水浴場安全監視」■

目的	海水浴場での事故を未然に防ぎ、応急手当を行い、迷子の保護及び捜索などを行う。 また、海水浴場のビーチコンディションのアナウンス等を行い情報提供する。 ビーチイベント(Jrライフセービングプログラムやビーチフラッグス等)などを遊泳客に提供し、参加者にはビーチのゴミを持ってきてもらい環境保護の意識を高めてもらう。
活動場所	京都府宮津市 天橋立海水浴場(文殊)・府中海水浴場 2箇所
活動期間	2010年7月17日～8月15日の間の土・日・祝 (全11日間)

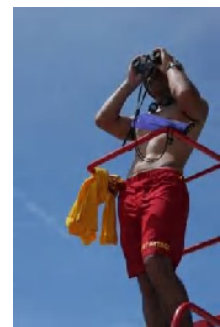
7月17日(土)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	8名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		400名		63名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		2名		2名
	迷子		0名		0名
7月18日(日)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	12名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		700名		200名
	レスキュー		1名		0名
	ファーストエイド		10名		6名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	5名	
		ビーチフラッグス		34名	
7月19日(月)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	10名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		200名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		8名		1名
	迷子		1名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	3名	
		ニッパーボード教室		6名	



7月24日(土)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	8名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		600名		300名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		1名		5名
	迷子		0名		0名
7月25日(日)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	5名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		416名
	レスキュー		5名		0名
	ファーストエイド		2名		3名
	迷子		2名		0名
7月31日(土)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	9名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		240名
	レスキュー		2名		0名
	ファーストエイド		10名		6名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	ビーチフラッグス	参加者	41名	
8月1日(日)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	10名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		400名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		3名		1名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	2名	
		ニッパード教室	参加者	7名	
ビーチフラッグス		参加者	45名		
8月7日(土)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	11名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		600名		355名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		6名		1名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	3名	
		ニッパード教室	参加者	7名	
		ビーチフラッグス	参加者	49名	



8月8日(日)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	12名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		385名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		1名		5名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	9名	
		ニッパーボード教室		5名	
		ビーチフラッグス		50名	
8月14日(土)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	13名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		400名
	レスキュー		0名		0名
	ファーストエイド		8名		6名
	迷子		0名		0名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	4名	
		ニッパーボード教室		9名	
		ビーチフラッグス		20名	
8月15日(日)	ガードスタッフ	天橋立海水浴場	12名	府中海水浴場	2名
	海水浴客(推定)		500名		385名
	レスキュー		1名		0名
	ファーストエイド		8名		8名
	迷子		0名		1名
	主催イベント	Jrライフセービングプログラム	参加者	12名	
		ニッパーボード教室		9名	
		ビーチフラッグス		38名	
来年度に向けて	<p>2011年度も、無事故を目標にスタッフ各自のスキルアップを図っていききたい。 また、ジュニアライフセービングプログラムやビーチフラッグスなど主催イベントも多くの海水浴客に浸透してきたので、今後は天橋立の地域とより密着した活動を行い、「ビーチにライフセーバーがいて安全に海水浴を楽しんでもらえる場所」であることを積極的にアピールしていきたい。</p>				



イベント名	DSCC(福井・京都地区スキューバ・ダイビング安全対策協議会)海浜清掃
内 容	地元の方中心に流木、古タイヤ等大型の漂流物など、波消しブロックや砂に埋もれている物を撤去。水中の廃棄物はダイバーの方中心で撤去。
開催日時	2010年6月27日(日)
開催場所	舞鶴市竜宮浜海水浴場
主 催	DSCC(福井・京都地区スキューバ・ダイビング安全対策協議会)
参加者	DSCC関係者、地元関係者など約100名強
スタッフ派遣	8名
所 感	今年もDSCCの趣旨に賛同し、竜宮浜清掃に協力した。監視だけでなく、こうして安全に海水浴を楽しんでもらうための活動もライフセーバーとして大切な役目と改めて感じる事ができた。

イベント名	第22回びわこトライアスロン&ちびっこチャレンジin高島
内 容	スイムパートの安全監視 びわこトライアスロン:レスキューボードでカヌーと一緒にスイムガード(600m) ちびっこチャレンジ:プールサイドでガード(低学年50m/高学年100m)
開催日時	2010年6月27日(日)
開催場所	高島市宮野・高島B&G海洋センターおよび周辺・萩の浜水泳場
主 催	びわこトライアスロン&ちびっこin高島大会事務局
参加者	180名 低学年50名 高学年50名
スタッフ派遣	2名
所 感	穏やかな湖面で、流されたりする選手もおらず、藻も少なく泳ぎやすかった。カヌーとの連携ができると、もっと効率よくガードができると感じた。ちびっこチャレンジは、低学年は泳力の差があるので、十分注意して行った。

イベント名	2010舞鶴アクアスロンin若狭おおい
内 容	水上における選手安全管理、競技運営上の指導
開催日時	2010年7月11日(金)
開催場所	長井浜海水浴場 (福井県大飯郡おおい町長井)
主 催	舞鶴市トライアスロン協会
参加者	58名
スタッフ派遣	4名
所 感	初心者が多い大会であったが、無事完走するのをサポートできた。

イベント名	第21回トライアスロン珠洲大会
内 容	スイムパートの安全監視
開催日時	2010年8月22日(日)
開催場所	石川県珠洲市 鉢ヶ崎海水浴場
主 催	トライアスロン珠洲実行委員会
参加者	成人1027名 ジュニア 73名
依 頼	特定非営利活動法人大阪ライフセービングクラブ
スタッフ派遣	4名
所 感	他クラブとの合同でのガードだったので、コミュニケーション不足を感じた。



イベント名	宮津キャスルハッスル 宮津城城壁復元記念事業
内 容	創作船レースの安全監視
開 催 日 時	2010年8月29日(日)
開 催 場 所	宮津市役所横大手川
主 催	宮津市キャスルハッスル実行委員会
参 加 者	ジュニアの部 11チーム 大人の部 76チーム
スタッフ派遣	4名
所 感	あまり経験したことのないコンディション(頻繁に変化する流れと風向き、透明度と水底の悪さ)での危険もあったが、イベントの進行において、実行委員会、参加者とのコミュニケーションをとりながら、かかわれた事はよかった。



イベント名	第4回ひめじ家島オープンウォータースイミング大会
内 容	レスキューボード、IRB、PWCでガード
開 催 日 時	2010年8月29日(日)
開 催 場 所	兵庫県姫路市家島町宮 清水の浜
主 催	ひめじ家島OWS実行委員会
参 加 者	300名
依 頼	特定非営利活動法人神戸ライフセービングクラブ
スタッフ派遣	4名
所 感	神戸ライフセービングクラブ等の団体と一緒に活動できたこと、交流が持てたことが良かった。 また、長い距離での1WAYコースだったので、ガード範囲も広く、どのように見て安全を確保するべきか難しく、課題が残った。

イベント名	三洋物産 INTERNATIONAL LIFE SAVING CUP 2010
内 容	ライフセービングの国際大会の安全ガードと審判員
開 催 日 時	2010年9月5日(日)
開 催 場 所	和歌山県白浜町白良浜海水浴場
主 催	特定非営利活動法人日本ライフセービング
参 加 者	7ヶ国8チームのライフセービング選手
スタッフ派遣	安全ガード 3人 審判 2人
所 感	トップレベルの選手の見ることが出来刺激になった。 また、ジェットスキーやIRBなどを使った救助なども参考になった。 国際大会の審判という貴重な経験もでき良かった。



青少年・児童に対する水辺の安全・教育事業

イベント名	マキノ西小学校 着衣泳体験指導
内 容	クイズ・落水体験・ライフジャケット体験・PETボトルでの救助
開 催 日 時	2010年6月28日(月)
開 催 場 所	滋賀県高島市立マキノ西小学校 プール
主 催	高島市教育委員会
参 加 者	小学3年生 児童8名 保護者8名
ス タ ッ プ	特定非営利活動法人京都ライフセービング2名、B&G1名、教職員3名
所 感	夏休みを迎える前に水辺の安全教育をすることは重要だと思う。 パニック率の高い落水体験をすることで水辺に落ちたときの感覚を感じてもらえた。保護者と一緒に救助体験ができたことはとても有意義だった。


イベント名	益富中学校 水泳プログラム
内 容	水泳プログラムにおける海の活動の安全の確保及び、緊急事態の対応
開 催 日 時	2010年7月2日(金)
開 催 場 所	独立行政法人国立若狭湾青少年自然の家
主 催	豊田市立益富中学校
参 加 者	中学2年生 114名
スタッフ派遣	2名
所 感	青少年の自然の家での水泳という事で、学校側の安全管理体制のもと進行できたように思う。対象となる生徒の全体的な雰囲気も良好。

イベント名	兵庫教育大学付属小学校臨海合宿
内 容	遠泳の安全監視 レスキューボードで教職員(ポート・スイム)とともに子どもたちの隊列につきガードした。
開 催 日 時	2010年7月20日(火)
開 催 場 所	新温泉町諸寄 塩谷浜及び諸寄海水浴場
主 催	兵庫教育大学付属小学校
参 加 者	74名 (小学生・教職員)
依 頼	特定非営利活動法人神戸ライフセービングクラブ
スタッフ派遣	2名
所 感	河口から水が入るところは、水温がかわり児童も驚いていたが、声を出し合い元気に泳ぎ切り喜ぶ姿がみられた。教職員も気をつけてガードしていた。



■ ジュニアライフセービングプログラム ■

<p>目的・内容</p>	<p>海での新しい遊び方の発見。その中で、危険予知の知識や、回避の方法、救助のスキルを身につける事が出来れば、水辺での楽しみ方や安全への意識も大きく変わり、家族や友だちに伝え広げることができると思う。</p> <p>ジュニアライフセービングフレンズと銘打って、Communication(かかわりあい)、Personality(個性・人格)、Respect(尊重・尊厳)を柱にしている。また保護者の方にも参加を呼びかけ、活動中の子どもたちの様子から、伝えたいことを共有できるようにプログラムを実施している。</p>
--------------	---

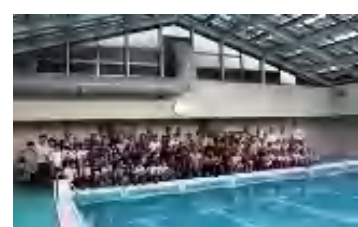
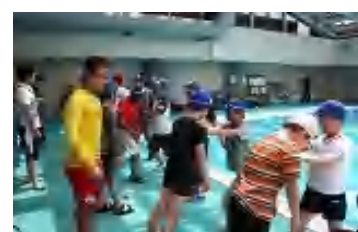
<p>活動内容</p>	<p>紙芝居による海の知識の学習 ビーチクリーン ビーチフィットネス・ビーチフラッグス パトロール体験 水慣れ・宝探し ニッパーボード体験 身近なもののレスキュー(PETボトル・他) ライフセービング器材での救助体験</p>	
-------------	---	---

<p>所感</p>	<p>今年度は、参加した子ども・保護者を対象にアンケート調査を行い、反省点や目標を確認でき、来年度の実施に向けて課題を明確にできた。</p> <p>また、参加した子どもに認定書を発行し、夏の思い出づくりにも貢献できたと思うので、来年度も実施したいと思う。</p> <p>今年度、色々と試した内容やアンケート結果などを見直し、今後も「子ども自ら考えて体験する」機会を多くつくる。</p> <p>その中で、人や身近な自然に触れ、楽しさや怖さを感じ、いのちの大切さと尊さに気づけるような機会をつくっていきたいと思う。</p>
-----------	---



■ 若者の水難救済ボランティア教室 ■

目 的	海やプールでの遊泳を親しむ機会の多い夏休み前に実地体験を通して、安全意識や自己責任意識の啓発をはかり、水辺での事故防止や事故発生時の対処方法を習得することを目的とする。
内 容	クイズ・落水体験・ライフジャケット体験・PETボトルでの救助・海上保安庁潜水士による救助の見学
日 時	2010年7月16日(金)
場 所	京都市立新町小学校 プール
主 催	京都府水難救済会
対 象	小学6年生
参 加 者	児童84名 保護者8名 教職員3名
指導スタッフ	特定非営利活動法人京都ライフセービング 6名 舞鶴海上保安部 警備救難課・交通課職員 3名 敦賀海上保安部 巡視船えちぜん潜水士 2名
MEDIA	テレビ局・新聞社数社取材あり
所 感	84名という大人数でのプログラムだったが、スタッフが適切に配置されていたので、説明も伝わりやすく安全に進めることができた。 実際に服を着て入水したことで、自分の身体感覚を味わったり、水流の力を感じたりと楽しみながら積極的に取り組む姿が見られた。 単発で終わるのではなく、継続して行えるように、来年度は力を入れて地域の小学校などに啓発していける体制を整えたいと思う。



ライフセービングの普及振興を図る為の人材育成事業

■ 日本ライフセービング協会公認資格 CPR(心肺蘇生法)講習会開催 ■

目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における心肺蘇生法+AED使用法の普及 ・水辺などの事故において、第一次救命処置が行えるライフセーバー・監視員等の育成
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフセービング概論 ・心肺蘇生法の意義・重要性・基礎知識・手順 ・AEDの意義・重要性・基礎知識・手順 ・実技 ・総合シミュレーション ・筆記試験 ・実技試験 他
日 時	2010年6月26日(土)0900～1700
場 所	舞鶴市 中総合会館 401会議室
対 象	一般公募
受 講 者	11名
KLSスタッフ	3名
所 感	<p>関係機関からの受講者があり、活動への関心の高さが伺える。 水辺だけにとどまらず、日常生活・仕事の中での救命意識の向上が期待できる。 スタッフがサポートすることで講習を円滑に進めることができた。 定期開催し、草の根を広げていくことが重要だと思う。 資格取得なので、更新講習も開催していきたい。</p>



組織概要

● 会員構成

正会員、賛助会員、ボランティアスタッフ	正 会 員	10	名
	賛 助 会 員	0	名
	ボランティアスタッフ	11	名

● 会議の開催

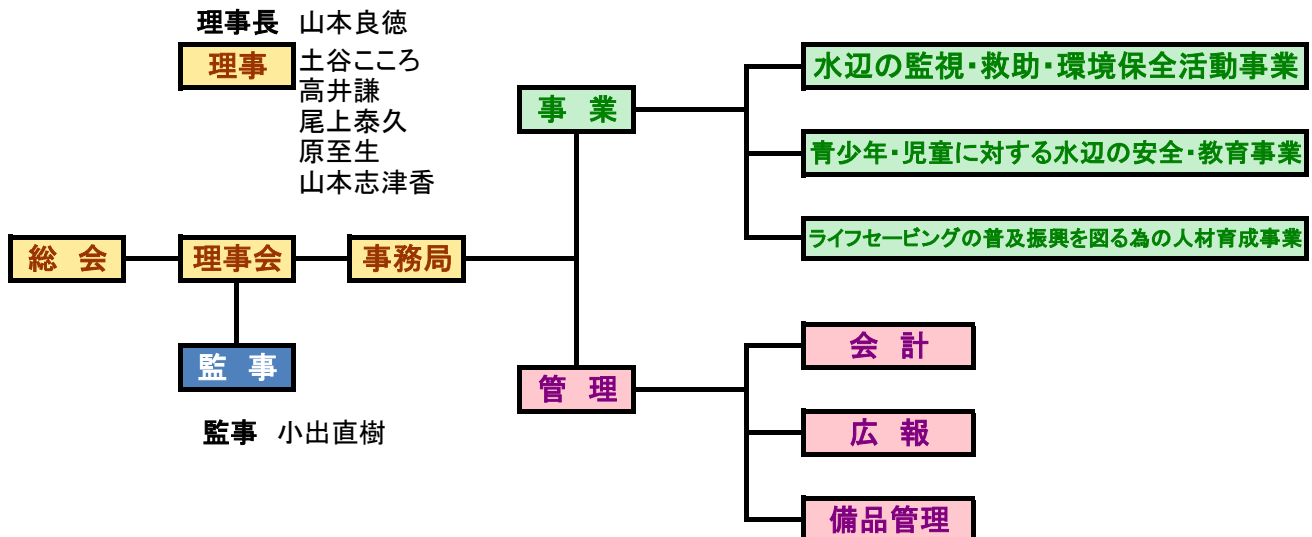
1 通常総会

日 時 2011年5月22日(日)
 場 所 舞鶴市中総合会館 1階視聴覚室
 出席者 8名
 委任者 2名
 内 容 2010年度事業報告、収支決算報告、2011年度事業計画、収支予算案

2 理事会の開催

日 時 2011年4月10日(日)
 場 所 舞鶴市中総合会館 1階 視聴覚室
 出席者 5名
 委任者 1名
 内 容 2010年度事業計画、決算案、2011年度事業計画、予算案検討

● 組織図





特定非営利活動法人京都ライフセービング

〒625-0044

京都府舞鶴市堂奥119番地の2

mail:office@kyotolifesaving.org

http://kyotolifesaving.org/